

主任技術者兼任承認申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

関東東北産業保安監督部長 殿

〒〇〇〇-〇〇〇〇

住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

氏名 〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇

(法人番号:

)

電気事業法施行規則第52条第4項ただし書の規定により次のとおり主任技術者の兼任の承認を受けたいので申請します。

兼任させようとする主任技術者	氏名及び生年月日	〇〇〇〇 〇〇年〇〇月〇〇日
	住 所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
	主任技術者免状の種類及び番号	第〇種電気主任技術者免状 第〇〇〇〇号
選任しようとする事業場の名称及び所在地		〇〇株式会社〇〇工場 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地 需要設備 受電電圧 〇〇V 最大電力 〇〇kW 非常用予備発電装置 発電電圧 〇〇V 発電出力 〇〇kW 台数 〇台
		〇〇株式会社〇〇工場 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地 需要設備 受電電圧 〇〇V 最大電力 〇〇kW
既に選任されている事業場	名称及び所在地	〇〇株式会社〇〇工場 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地 需要設備 受電電圧 〇〇V 最大電力 〇〇kW 非常用予備発電装置 発電電圧 〇〇V 発電出力 〇〇kW 台数 〇台 〇〇発電所 発電電圧 〇〇V 発電出力 〇〇kW 原動機 〇〇
	選任された期日	〇〇年〇〇月〇〇日

- 備考： 1. 法附則第7項又は第8項の規定により法第44条第1項の主任技術者免状の交付を受けている者とみなされた者に係る場合は、その旨を主任技術者免状の種類及び番号の欄に記載すること。
2. 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

《添付書類》

(1) 兼任を必要とする理由書 [記載例]

① 自社の主任技術者を兼任させる場合

当事業場は受電電圧〇〇V、最大電力〇〇kW、従業員〇〇名で、〇〇を製造する工場であります。当社においては、これまで電気主任技術者免状取得者の採用に種々努力しましたが、応募者がなく、やむを得ず当社〇〇工場に選任している主任技術者で、電気保安に関し経験の深い(氏名)〇〇〇〇に当事業場の主任技術者として兼任させることとしたい。

また、当事業場における今後の増設等を考慮し、最大電力2000kW未満までの範囲についてご承認くださるよう併せてお願いします。

② 系列会社の主任技術者を兼任させる場合 [記載例]

当事業場は受電電圧〇〇V、最大電力〇〇kW、従業員〇〇名で、〇〇を製造する工場であります。当社においては、これまで電気主任技術者免状取得者の採用に種々努力しましたが、応募者がなく、やむを得ず資本金出資率〇〇%、当社役員〇名のうち〇名の役員の派遣を行っている親会社の〇〇株式会社〇〇工場に選任されている主任技術者で、電気保安に関し経験の深い(氏名)〇〇〇〇に当事業場の主任技術者として兼任させることとしたい。

また、当事業場における今後の増設等を考慮し、最大電力2000kW未満までの範囲についてご承認くださるよう合わせてお願いします。

(2) 主任技術者の執務に関する説明書 [記載例]

常時勤務する事業場の名称及び所在地	〇〇〇〇株式会社〇〇工場 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
常時勤務する事業場及び自宅から兼任する事業場までの距離、所要時間及び交通手段	常時勤務する事業場から 〇〇km 〇〇分 自宅から 〇〇km 〇〇分 交通手段 車
連絡方法及び連絡責任者	電話番号〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 電気設備担当 〇〇課長 〇〇〇〇
当事業場における執務について	設備、改造などの工事期間中にあつては毎週1回以上、その他の場合にあつては毎月1回以上当該事業場に出向いて執務する。
事故その他異常時における措置	連絡責任者等の連絡を受け早急に事業場へ出向き、対応する。